

だまされない絶対やぐら - 三つの庭

使 16 章 6～10 節 その夜、パウロは 幻 を見た。一人のマケドニア人が立って、「マケドニアに渡って来て、私 たちを助けてください」と懇願するのであった。パウロがこの 幻 を見たとき、私 たちはただちにマケドニアに渡ることにした。彼らに福音を宣べ伝えるために、神が私 たちを召しておられるのだと確信したからである。(9～10)

Remnant は世界福音化するほど、神様が備えてくださっていることを見ましよう。実際に世界福音化をしようとすれば、三つの庭が必要です。

1 つ目、多民族時代が開かれます。霊的問題が全世界に広がっているのです、福音の光を照らすのです。イスラエルがこれをしなかったゆえに、福音を持っている次世代が奴隷、捕虜、流浪の民として強 大 国に行きました。いまは多民族が重 職 者、教役者として立てられます。2 つ目、ヒーリング時代が開かれます。霊的癒やしは、ただ福音だけができます。過去の傷は完全に土台にして、絶対やぐらになるようにするのです。現在の病氣は医師の 話 を聞いて、その病氣に合う食べ物、運動が必要です。そして、脳と霊、からだを生かす祈りと呼吸をすれば良いのです。これを 24 時して、神様の恵みを受けて、ほかの人が生かされるのも見ましよう。3 つ目、Remnant 時代を開きましよう。Remnant は 力 を受ける本を読んでみことばを悟り、英雄を見てキリストで答えを出ましよう。世界文化の流れの中で三つの祭りを理解して、脳と霊、からだを生かす礼拝と祈りを知りましよう。このとき、ただ、唯一性、再創造の挑 戦 を発見するでしょう。

世界福音化の三つの庭を祈りで準備するように祈りましよう。

神様、世界福音化のために三つの庭を祈りで始める今日になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

げんば さいそうぞう
現場を再創造しなさい

創 39 章 1～6 節 主がヨセフとともにおられたので、彼は成功する者となり、そのエジプト人の主人の家に住んだ。(2)

Remnant は現場を再創造しましょう。再創造の答えがあれば、世の中で生き残ることができます。そうすれば、一生、未信者に仕えて死んで行くことはありません。Remnant にどんな再創造の答えがあるのでしょうか。

1 つ目、預言されたみことばが成就する再創造です。ヨセフが幼いとき神様から受けた世界福音化の契約が、エジプトで成就しました。神様はいつでも成就するみことばを先に与えてくださいます。Remnant は、その契約をしっかりと握っていれば良いのです。2 つ目、時空を超越するみことばが成就する再創造です。現場のさまざまな状況と環境、人を受容して、超越できる力が現れるでしょう。御座と神の国、神の国のことが成り立つ働きが起こります。そのために、Remnant は困難にだまされてはなりません。3 つ目、神様はヨセフにみことばで未来を見せてくださいました。そのみことばが成就する再創造の事件が起こりました。未信者が Remnant を見て神様がともにおられることを見るようになり、未信者を助けるようになったのです。

Remnant は、いつでも神様の絶対計画が何か質問ましよう。これが祈りの中の祈りです。

神様、神様のみことばが成就する再創造の答えで現場が生かされるのを見ましよう。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

29 (水)	せ かい せんきょう せい かく はじ 世界 宣 教 の 正 確 な 始 ま り
創 39 章 19～23 節 監獄の長は、ヨセフの手に委ねたことには何も干渉しなかった。それは、主が彼とともにおられ、彼が何をしても、主がそれを成功させてくださったからである。(23)	
Remnant が一つ知っておくべきことがあります。これから起こることの中に、神様の祝福が備えられているという事実です。それが世界宣教の正確な始まりです。Remnant は、どんな答えを受けて伝えれば良いのでしょうか。	
1 つ目、ヨセフが濡れ衣を着せられて監獄に行きました。ところで、その日が運命を変える日でした。Remnant は現場で問題が起こることもあります。それは、Remnant が自分と会う人の運命をひっくり返して、わざわいをひっくり返す日です。2 つ目、ヨセフがいたポティファルの家と監獄を神様が祝福されました。その時間が現場を変える日になりました。神様がともにおられる祝福が現場に現れ始めたのです。これが Remnant の宣教です。3 つ目、神様は監獄でヨセフに官長に会うようにされました。監獄の時間が未来を変える日になったのです。神様は Remnant が行く道を正確に導いてくださいます。その中で会う人と苦しみは、世界福音化の道になり、世界のわざわいを変える旅程になります。	
Remnant が契約を握っていると、すべての時代のわざわいを止めます。これから正確な契約を握って祈りで味わいましょう。	

神様、運命と現場、未来を変えられる神様を見る Remnant になりますように。
生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2025. 01. 26. 2 部

30 (木)	みつ にわ 三つの庭のやぐらから
使 1 章 1～8 節 しかし、聖霊があなたがたの上に臨むとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、わたしの証人となります。(8)	
異邦人を生かして、ネフィリムを癒やし、子どもたちを育てる三つの庭が必要です。これが神様の目標です。私たちの目標と方向が神様と合うとき、御座の祝福と時空超越の答えが与えられます。そのとき、空前絶後の答えがついてきます。すると、人を生かすプラットフォーム、見張り台、アンテナの答えを受けるようになります。	
1 つ目、プラットフォームは人々が来るしかない所です。人々がプラットフォームに来て、力を受けて、未来を見ます。すると、光の経済を答えとして受けます。2 つ目、外国にいる人、多民族をよく見てみましょう。彼らが集まる所が世界福音化の現場だからです。彼らを生かす光を神様が照らしてくださいるように祈りましょう。これが見張り台の役割です。3 つ目、プラットフォームと見張り台が作られれば、神様のみことばが通じるアンテナが建ちます。すると、3 千弟子が起きます。そして、礼拝に成功して、みことばが成就することを確認できます。	
プラットフォーム、見張り台、アンテナの答えをやぐらと言います。やぐらを持っている Remnant は見張り人になります。神様が願われる三つの庭に方向を合わせて、やぐらを味わう時間を必ず持って祈りましょう。	

神様、神様の目標である三つの庭に方向を合わせて、神様のやぐらを味わいますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

2025. 02. 01. レムナントと TCK 伝道学

ロマ 16 章 25～27 節 私^{わたし}の福音^{ふくいん}、すなわち、イエス・キリスト^{つた}を伝える宣教^{せんきょう}によって、また、世^よ々にわたって隠^{かく}されていた奥義^{おくぎ}の啓示^{けいじ}によって——(25)

Remnant は金土日時代^{きんどうにちじだい}の主役^{しゅやく}になります。そのために Remnant だけの特別秘密伝道チーム^{とくべつひみつでんどう}の答え^{こた}を受けましょう。まず先に神様^{かみさま}と方向^{ほうこう}が合^あって、目標^{もくひょう}が合う祈り^{いの}を始めるのです。イエス様^{イエスさま}が直接^{ちよくせつ}、御座^{みざ}の祝福^{しゅくふく}と聖霊^{せいれい}の満^みたしを教^{おし}えてくださいました。これを祈^{いの}りで味^{あじ}わえば、ただの答^{こた}えを味^{あじ}わうことができます。そのとき、時代^{じだい}を変える神様^{かみさま}のターニングポイント^{かみさま}が起こります。

1 つ目、ローマ 16 章^{しょう}の人々^{ひとびと}は、24 祈^{いの}りチームでした。彼^{かれ}らは神様^{かみさま}が現場^{げんば}と未来^{みらい}に隠^{かく}されたことを見^みつけました。2 つ目、この人々^{ひとびと}は、伝道^{でんどう}に 24 するチームでした。伝道者^{でんどうしや}の支援者^{しえんしや}、同労者^{どうろうしや}、家主^{やぬし}の役割^{やくわり}をして現場^{げんば}を生^いかされる神様^{かみさま}を見ました。3 つ目、彼^{かれ}らはいのちを生^いかす伝道^{でんどう}、宣教^{せんきょう}に 24 時^じする企画チームになりました。この人々^{ひとびと}はいのちをかけて福音^{ふくいん}を伝^{つた}えて味^{あじ}わう秘密決死隊^{ひみつけつしだい}でした。それとともに会堂^{かいどう}を訪^{たず}ねて行って Remnant を育^{そだ}てました。私^{わたし}たちの Remnant も、このような Holy Mason になる祈^{いの}りを始めましょう。

これからは、世^よの中^{なか}を癒^いやすやぐらを建^たてましょう。これがやぐら伝道^{でんどう}です。Remnant が福音^{ふくいん}を味^{あじ}わう御座^{みざ}の力^{ちから}を持^もっている人^{ひと}として立^たつのです。いまは神様^{かみさま}がくださったやぐらを味^{あじ}わう時間^{じかん}を持^もちましょう。

神様^{かみさま}、神様^{かみさま}の目^{もく}標^{ひょう}である三^{みつ}つの庭^{にわ}に方向^{ほうこう}を合^あわせて、神様^{かみさま}のやぐらを味^{あじ}わいますように。イエス・キリストの御名^{いの}によってお祈^{いの}りします。アーメン

創 40 章 21～23 節 ところが、献酌官長^{けんしゃくかんちょう}はヨセフのことを思い出^{おも}さないで、忘^{わす}れてしまった。(23)、

ヨセフが濡れ衣^{ぬぎぬき}を着^きせられて、監獄^{かんごく}に入れられたとき、官長^{かんちょう}を助^{たす}けました。その官長^{かんちょう}が監獄^{かんごく}から出^でて行くとき「私^{わたし}を思い出^{おも}してください」と言^いいましたが、彼^{かれ}はヨセフのことを忘^{わす}れました。神様^{かみさま}が忘^{わす}れるようにされたのです。ここで Remnant は三^{みつ}つのことを見^みましょう。

1 つ目、時間^めを見る目^めです。Remnant は時間^{じかん}や機^き会^{かい}を待^まつのではなくノータイム (No time) の契^{けい}約^{やく}を握^{にぎ}りましよう。今^{いま}が最^{さい}高^{こう}の時^じ間^{かん}で、今^{いま}いる現^{げん}場^ばが最^{さい}高^{こう}の宣^{せん}教^{きょう}地^ちです。今^{いま}こ^こで御座^{みざ}の祝^{しゅ}福^{ふく}を受^うける主^{しゅ}役^{やく}になるのです。2 つ目、事^じ件^{けん}を見^みる目^めです。多^{おほ}くの人^{ひと}は道^{みち}を見^みつけようとしま^しす。しかし、Remnant はノーウェイ (No way) です。Remnant の道^{みち}は神様^{かみさま}が私^{わたし}と、私^{わたし}たちと、すべ^{すべ}てのこ^こととともにお^おられる、その証^{しょう}拠^この道^{みち}です。その証^{しょう}拠^こに從^{したが}って行^いけ^いば良^いいのです。3 つ目、目^め標^{ひょう}を見^みる目^めです。Remnant は、人^{ひと}に頼^{たよ}って、人^{ひと}に求^{もと}めるのではありません。Remnant が行^いくすべ^{すべ}ての現^{げん}場^ばはノーバディ (Nobody) です。それゆ^ゆえ、神様^{かみさま}の絶^{ぜつ}対^{たい}計^{けい}画^{かく}を見^みつけるのです。そのとき、神様^{かみさま}のみこ^{みこ}とばが生^はきて働^{はたら}き始^{はじ}めるので、みこ^{みこ}とば成^{じょう}就^{じゆ}の証^{しょう}拠^こが出^でてき始^{はじ}めます。

Remnant はノータイム (No time)、ノーウェイ (No way)、ノーバディ (Nobody) の契^{けい}約^{やく}を正^{せい}確^{かく}に握^{にぎ}って祈^{いの}りましよう。

神様^{かみさま}、ノータイム (No time)、ノーウェイ (No way)、ノーバディ (Nobody) の契^{けい}約^{やく}が私^{わたし}の答^{こた}えになりますように。生^いきておられるイエス・キリストの御名^{いの}によっ^よてお祈^{いの}りします。アーメン